

秋の全国火災予防運動 11/9~11/15

警察力の強化とともに市民の安全安心を担保するものに消防力の強化があげられます。

全国火災予防運動は春季と秋季の年2回あり、秋季については毎年11月9日から11月15日までの1週間が設定され、火災予防の啓発運動が行われます。



これから暖房のシーズンとなり、火を使う機会が増えます。火災予防週間にかかわらず「火の用心」に心掛けたいものです。



青木消防庁長官（元埼玉県副知事）と宇田川ゆきおは旧知の関係。講演会、集会等でご指導をいただいています。

消防団の活躍に感謝

あらためて紹介するまでもないのですが、消防団は、消防組織法に基づいて各市町村に設置されるものです。

消防団は「自分たちのまちを自分たちで守る」というボランティア精神に基づき地域の安全と安心を守るために活躍しています。宇田川ゆきおも消防団に所属し、地域防災活動に参加しています。



平成 28 年度八潮市消防団特別点検



入団するには

入団資格は、八潮市内に在住または在勤し、18歳以上で心身ともに健康な男女であれば職業は問いません。

問い合わせ先

草加八潮消防局 八潮消防署 管理課

TEL 048-996-0119

寒気到来！風邪に注意！

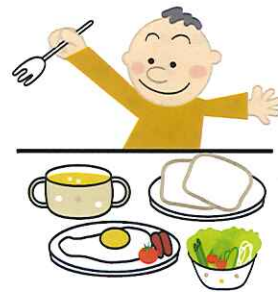
天気図で西高東低の気圧配置が居座ると厳寒の季節が到来。インフルエンザの流行により学級閉鎖や登園停止になり、病院やクリニックに通院する人が増えます。

風邪をひかないために

ウイルスに感染しないよう衛生面に注意することが最善の予防です。なるべく人混みに近づかないようにすることも大切です。



①うがい、手洗いをこまめに行う。



②適度な運動とバランスのとれた食事。



③極端な厚着を避け、抵抗力を養う
身体づくりを心掛ける。

健康は市の財政力に影響

「国民健康保険は危機的な状況にある」と言われています。何が危険かということ、財政的な基盤が弱いところにあります。政府はこの財政基盤を強化するために、都道府県が財政運営の責任を担う医療保険制度の改革案を発表。

しかしながら、国民健康保険には大きな問題が3点あり①無職・非正規労働者が8割 ②保険料負担が重い ③高齢者が多く医療費増大。結果的には財政赤字が全国で単年度約3,500億円となっており、税金から赤字を埋めています。



2018年度からは市町村ごとにバラバラだった財源を都道府県にまとめ、都道府県の責任で運営することになります。

財源は国からの補助金が半分、各市町村が分担金を都道府県に納めることで運営していくことになります。

ただし、財政赤字の問題は残されたままで穴埋めの方法が明確になっていないことが指摘されています。

いずれにしても、2025年には、団塊の世代がすべて75歳を超え医療サービスが増大してきます。「病気になる」「健康でいられる」というのは、本人にとっても幸せなことですが、市の財政力の向上にも寄与することになります。